

瀬波温泉への来訪

昭和12年2月10日、長岡の商人羽賀虎三郎の招待で瀬波温泉養真亭に宿泊した。晶子は養真亭主人の案内で、湯元や赤松林、浜辺へと足を運び、45首もの歌を詠み残した。

『養真亭』跡地（与謝野晶子投宿の宿）

『養真亭』は明治末期に創業した老舗旅館。現在の龍泉の辺りとみられる。当時の様子は『晶子来遊記』によると

「村上の駅へ着きましたのは二時頃であつたかと思ひます。直ちに瀬波へ向ひ、養真亭と云ふ松山の裾に、三面山に向いた家へ私達は入つたのでした。……その時から降り出していました雨が翌日一日降ってしまして、……。」と記述されており当日の様子がかがえします。



温泉街の散策（湯元-松林-瀬波海岸）

晶子一行は館主波済氏に案内され、宿から湯元を見学し、赤松林を抜けて浜辺へと出て、佐渡や粟島を眺めました。

当時の海岸に通じる道は狭い小路で、その



両側は赤松林で覆われていました。



与謝野晶子

(1878 ~ 1942)

温泉は
いみじき瀧の
いきほいを
天に示して
逆しまに飛ぶ
晶子

昭和12年2月10日瀬波噴湯場にて

明治11年、堺の甲斐町に和菓子商駿河屋の三女として誕生した。戸籍名は志よう。

明治、大正、昭和を短歌とともに生き「情熱の歌人」と呼ばれ、近代文学史上屈指の女性であった。同時に与謝野鉄幹（寛）の妻であり11人のこどもたちの母でもあった。

明治34年に出版された『みだれ髪』は浪漫主義の代表作でもある。

お問い合わせ

瀬波温泉旅館協同組合

〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉 2-7-24
<http://www.senami.or.jp>

TEL 0254-52-2656

村上市観光協会

〒958-0854 新潟県村上市田端町 11-8
<http://www.sake3.com/>

駅前観光案内所 むらかみ旅なび館
TEL 0254-53-2258

瀬波温泉

与謝野晶子

歌碑めぐりマップ

与謝野晶子歌碑めぐりマップ。

